

旧元町小学校の部材等に関する記録・活用・復元の方向性

令和3年7月

校舎内・外観	番号	階	室名	部材等	棟	選定理由	方向性（記録・活用・復元）
校舎内	01	各階共通	普通教室	腰壁・窓枠 室内教室廊下間窓 教室間扉	東棟（保全） 西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	活用又は復元
	02			黒板（特別教室含む）	東棟（保全） 西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	活用又は復元
	03		廊下	腰壁・窓造作・フック	東棟（保全） 西北棟（解体）	学校校舎にとって廊下の存在は大きいため。	活用又は復元
	04			天井	東棟（保全） 西北棟（解体）	直天井は復興小学校に共通する特徴であるため。	活用
	05			人研ぎ流し	東棟（保全） 西北棟（解体）	当時の時代を表すものであるため。	活用（原則、活用とするが、部材の保存状況等により活用できない場合あり）
	06		北東第2階段室	階段と造作	西北棟（解体）	復興小学校の理念を表しており、意匠的にも優れているため。	活用（手摺壁の細工金物）
	07		東南第1階段室	階段と造作	東棟（保全）	竣工当時の部材が残っているため。	活用
	08		西第3階段	階段と造作・窓	西北棟（解体）	復興小学校の理念を表しており、意匠的にも優れているため。	記録
	09	1階	第一昇降口	内観・外観	東棟（保全）	庇や柱形は元町小学校を特徴付ける意匠であり、昇降口は復興小学校に共通する空間構成であるため。	活用又は復元
	10		旧職員室	奉安庫	東棟（保全）	意匠的に優れており、戦前の教育思潮を感じさせる貴重な資料であるため。	活用又は復元
	11		旧衛生室	給気ガラリ	東棟（保全）	自然給気の入口であり、外観にも表れているため。	復元
	12		旧宿直室	床の間造作	東棟（保全）	竣工当時の部材が残っているため。	記録
	13		体育館	鉄骨梁	西北棟（解体）	技術の発展の歴史を表しているため。	記録
	14		体育館倉庫	造作・建具・仕上げ	西北棟（解体）	当時の造作や建具があるため。	記録
	15		旧シャワーバス室・脱衣室		西北棟（解体）	当時の衛生思想の表れであるため。	記録
	16		体育館前廊下	タイル・流し	西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
	17	2階	旧理科準備室	ドラフトチャンバー	東棟（保全）	高度な実学を行っていた証であるため。	記録
	18			暗室	東棟（保全）	高度な実学を行っていた証であるため。	記録
	19		旧理科室	窓枠・腰壁	東棟（保全）	高度な実学を行っていた証であるため。	記録
	20		旧唱歌（音楽）室	窓枠・腰壁	西北棟（解体）	高度な実学を行っていた証であるため。	記録
	21		標本室2	腰壁・窓・給気口	西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
	22	3階	廊下	掲示板・ダストシュート	東棟（保全）	往時の学校の特徴を表しているため。	活用（ダストシュートは意匠を保存（使用不可））
	23		北東階段倉庫	内装・扉	西北棟（解体）	竣工当時の部材が残っているため。	記録
	24		旧家庭科室	窓枠・腰壁	東棟（保全）	高度な実学を行っていた証であるため。	記録
	25		旧図画室	窓枠・腰壁	西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
	26			天窓高窓	西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
	27		便所		西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	活用又は復元（個室の扉のみ活用。その他、壁床等の意匠を保全施設3階のトイレに一部復元）
	28		屋上	—	人研ぎ流し	東棟（保全） 西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。
	29	—		スチール手すり	東棟（保全） 西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
	30	観測室（日光浴室）		仕上げ・天窓	西北棟（解体）	天窓が現存している事例は数少ないため。	記録
	31	東南第1階段室		ペントハウス窓	東棟（保全）	往時の学校の特徴を表しているため。	復元
	32	西第3階段		ペントハウスと窓	西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
	33	地階	湯沸室	建具・造作・仕上げ・スチールサッシュ	西北棟（解体）	竣工当時の部材が残っているため。	記録
	34		小使室	建具・造作	西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
	35		旧汽罐室（ボイラー室）		西北棟（解体）	往時の学校の特徴を表しているため。	記録
外観	36	—	外壁	仕上げ	—	往時の学校の特徴を表しているため。	復元
	37			ドア、扉	—	往時の学校の特徴を表しているため。	復元
	38			サッシュ	—	往時の学校の特徴を表しているため。	復元
	39			窓下給気ガラリ	—	窓下の給気口、室内扉上の換気口とともに、当時の換気システムの理論が具現化された証拠であるため。	復元
	40		東門	門柱	—	竣工当時から存在するため。	復元（No.41とどちらか一方）
	41		北門	門柱	—	竣工当時から存在するため。	復元（No.40とどちらか一方）

※ 本表は、部材の保存状況等により、変更となる可能性があります。また、解体工事中に新たに部材が見つかった場合は、方向性について都度検討を行います。

※ 方向性について、本表における用語の定義は以下のとおりです。
 記録：部材そのものは残さず、写真等で記録を残す。
 活用：部材そのものを活用する。
 復元：部材そのものは残さず、形状を模して復元する。